

氏 名	東 玲 治
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 4885 号
学位授与の日付	平成 26 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Diagnostic accuracy of narrow-band imaging and pit pattern analysis significantly improved for less-experienced endoscopists after an expanded training program (narrow-band imagingとpit patternの診断精度は、トレーニングプログラム後に経験の少ない内視鏡医で有意に改善した)
--------	--

論文審査委員	教授 吉野 正 教授 金澤 右 教授 八木 孝仁
--------	--------------------------

学位論文内容の要旨

目的は NBI 観察による大腸腫瘍・非腫瘍性病変の鑑別診断能およびその習得の簡易性を比較検討すること。5mm 以下の大腸病変に対して、通常、NBI(非拡大、拡大)、色素撒布下(非拡大、拡大)観察を行った後、組織採取を行った。検査法毎に最も明瞭な画像を 1 枚ずつ選択後、NBI 診断経験 5 年以上の熟練医群(A)、NBI・拡大観察未経験の内視鏡医群(B)、内視鏡検査未経験の研修医群(C)各 4 人が、無作為に提示された病変の鑑別診断を行った。B と C は専門医による講義を 1 時間受講し、再度同様の鑑別診断を行った。病理診断を gold standard とした。44 病変(腫瘍 27、非腫瘍 17)計 220 画像が得られた。B では NBI 拡大の正診率は、講義後 73%から 90%に有意に上昇し、A の 93%と比較し有意差を認めなかった。また、NBI 拡大の κ 値は 0.46 から 0.79 に上昇し、A の 0.85 に近づいた。一方、C の講義後の正診率は、通常を除いて A よりも有意に劣っていた。B は、短時間の講義により A と同等の NBI 診断能を習得できる可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は内視鏡における教育の効果を検討したものである。NBI・拡大観察診断経験 5 年以上と未経験の内視鏡医、内視鏡検査自体未経験の 3 群において、病変の鑑別診断を行い、後 2 群では専門医の講義を 1 時間した後再度検索を行った。その結果、第 2 群では正解率が 73%から 90%に有意に上昇した。第 1 群は 93%であり、有意差がないレベルとなった。第 3 群は第一群と比べて有意に劣っていた。以上の結果から NBI・拡大観察診断の経験が少ない内視鏡医では教育的効果が期待されることが明らかとなった。

実験の目的、手法、結果とその解釈とも適切になされており、内視鏡 NBI・拡大観察検査教育に関する重要な知見を得たものと評価される。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。